

第1回地元協議会「会議録」

日時 令和3年8月28日(土) 午後2時00分～午後2時50分
場所 多摩ニュータウン環境組合 見学者説明室

出席者 12名

住民委員 (8名)

落合自治連合会(1名)

唐木田自治会(1名)

中組自治会(1名)

唐木田李久保自治会(1名)

町田市上小山田町内会山中地区(1名)

ホームタウン鶴牧-6団地管理組合(1名)

ヒルサイドタウン鶴牧-6団地管理組合(1名)

エステート中沢団地管理組合法人(1名)

組合委員 (4名)

多摩ニュータウン環境組合

(富澤事務局長、柚木総務課長、中村施設課長、平松計画担当課長(兼)出納課長)

1 開会

- ・記録、広報、会議録の作成及びホームページへの掲載等に使用するため、録音と写真撮影について説明
- ・新型コロナウイルス感染症対策として、換気のための窓等開放と飛散防止用のパーテーション設置について説明
- ・開催にあたって「多摩ニュータウン環境組合地元協議会設置要綱」第7条第2項にある住民委員の2分の1以上の出席を確認
- ・配布資料の確認

2 管理者による協議会発足のあいさつ

- ・多摩ニュータウン環境組合が八王子市・町田市・多摩市の3市で廃棄物を広域的に共同処理することを目的として設立した一部事務組合であることを説明
- ・今までは毎年3月に開催している地元報告会や情報交換会等、任意の会議形式で行っていたが、今後は地元の皆様と相互に理解を深めるために、多摩ニュータウン環境組合地元協議会設置要綱を策定し本協議会を設置したことを説明
- ・次期処理施設の検討も含む施設老朽化への対応について、地元の皆様と引き続き情報共有や意見交換を行いながら進めていくことを説明

3 事務局長による協議会の開会あいさつ

- ・本日の協議会次第に沿った概要説明
- ・連絡調整・意見交換等をざっくりばらんな形で進めていきたいことを説明

4 地元協議会の委員紹介

- ・住民委員の紹介
- ・組合委員の紹介

5 連絡調整事項の説明

・地元協議会の運営について

① 地元報告会の役割を地元協議会に移管することについて

例年3月に実施している地元報告会の役割をこの地元協議会に移管して皆様と意見交換する窓口を1つにしたいことを説明

(理由) 例年3月に実施している地元報告会と地元協議会で多摩ニュータウン環境組合の窓口が2つあると、皆様のご意見や調整事項に対して公平性を担保することが難しい。また、対応に誤解や矛盾が生じる可能性があるため。

地元報告会の良いところを引継ぎ、地元協議会の内容をホームページ等で公表し、広く意見を受け付けることができる体制を整え、地元協議会で情報共有を図ることを説明

② 開催時期について

地元協議会を8月に開催したいことを説明

(理由) 自治会・管理組合の役員が決まるのが5月頃、次の6～7月頃の集会等で地元協議会の委員選出となる。また、当工場の運営に係る各種データが8月にまとまる。いただいた意見等にスピード感をもって対応し進捗状況を委員の皆様と共有したいため。

③ 会議内容について

例年3月に実施している地元報告会の内容を「定例報告」で、意見交換等を「連絡調整」で行いたいことを説明

・施設老朽化について

工場の性能維持を最優先に、費用面から最適な建替え時期を検討することを説明

工場の広域化集約化のメリットデメリット、最新の清掃工場の環境性能、防災拠点としての役割、有効な地元還元方法等、清掃工場に係る最近の動向を調査することを説明

最新の清掃工場の環境性能等の情報を集め「勉強会」や「最新の工場視察」等を企画するので参加してもらいたことを説明

・放射能測定について

放射性物質の監視義務の免除を申請し、排ガス測定と敷地境界での放射線量の測定頻度を減らしたいことを説明

(理由) 発災後の測定結果と比べ直近の測定結果は70分の1から35分の1程度に低減しており、平成24年度と比べ十分に低い濃度で推移しているため。

6 質疑・ご意見等

別紙、第1回 地元協議会 質疑等・回答一覧 参照

7 閉会

- ・連絡調整事項についての回答期限が10月8日であることを説明
- ・本協議会は、通常、年1回の開催を予定しているが、今年度は施設老朽化への対応についてコンサルティング結果を報告したいため、次回の開催を来年の3月頃に予定していることを説明